



クリス・フィギンズ

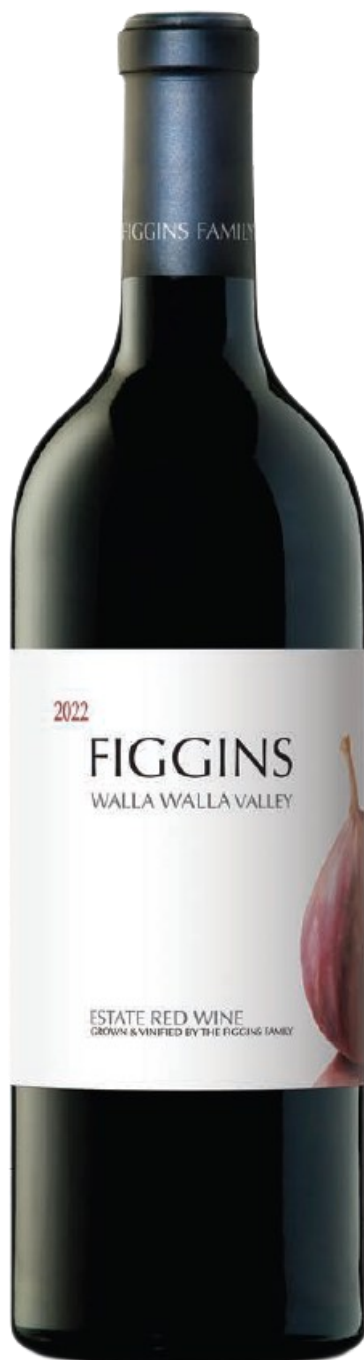
FIGGINS

WALLA WALLA VALLEY



レス・ヴィンヤード

フィギンズ エステート レッド ワイン 2022



フィギンズはワシントン州ワラワラの最初のワイナリーであり、超一流のカルトワイン、レオネット・セラーズのオーナーであるフィギンズ一家の2世代目クリス・フィギンズのブランドです。フィギンズは単一畑で造られたワインで、それぞれの区画に適切な品種、配置、仕立て等、数えきれない程の選択と決定を経て、この「畑」を表現した唯一無二のワインです。

ワインメーカーズノート

グラスに注ぐと、その深みのある濃い色合いが印象的です。香りは、野生の赤い果実、フローラルな香り、そしてスパイスを効かせたグリルした肉の香りが、まさに弾けるように立ち上ります。口に含むと、リッチでベルベットのようになめらかな口当たりが広がり、赤い果実や黒い果実の層、温かなベーキングスパイス、そして旨味のある深みが重なり合い、複雑さを増していきます。余韻は豪華で力強く、驚くほど長く続きます。

2022年の「奇跡のヴィンテージ」から生まれたこのワインは、これまでの「エステート・レッド」の中でも、最も魅力的な一本と言えるでしょう。

ヴィンテージ・ノート

2022年の生育期に名前をつけるとしたら、私は「奇跡のヴィンテージ」というシンプルな呼び名を付けたいと思います。まず、信じられないほど遅い春と「ジュンネアリー Juneuary June + January（6月なのに1月のような寒さ）」のため、10月に入るまで私たちは冷や汗をかき続けました。これは私のキャリアの中でも最も涼しいヴィンテージの一つであり、特に標高の高いフィギンズ・エステートのブドウ畑では顕著でした。しかし、その後、記録的な暖かさを記録した10月が、文字通りこのヴィンテージを救ってくれたのです。これらのワインは実に素晴らしく、絶対に見逃せません！

スコア 99点 Owen Bargreen(2021)、98点 Vinous(2021)、
97点 James Suckling(2021)

AVA：ワラワラ・ヴァレー

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン、メルロ、プティ・ヴェルド

畑：フィギンズ・エステート

樽：フレンチオーク（新樽70%）22か月熟成

生産数：1,782ケース

リリース：2025年秋

飲み頃：今すぐでも、この先20～25年の間でもお楽しみいただけます。

アルコール：14.5%

希望小売価格：¥23,500（税込 ¥25,850）

